



## 東北大学病院 がん診療相談室・がんサロン『ゆい』たより

### がん診療相談室のご案内

月曜日～金曜日（土・日・祝日・年末年始除く）

8時30分～17時15分（受付は17時まで）

☎ 022-717-7115

## 2026年度第1回講話開催報告

今年度第1回目の講話を6月17日（水）13:30～開催しました。

講師は、東北大学病院腫瘍内科准教授の城田英和先生より「あなたに最適ながん治療と一緒に考える～ゲノム医療と個別化医療の新しいかたち～」についてご講話いただきました。以下、講話の内容をご紹介します。

がんは、現在2人に1人ががんになる時代です。そして医学・医療が進歩しても長寿社会になったことでがんと診断される人が多くなり死亡率も高くなっています。そもそもがんってどんな病気？ということでもがん細胞が勝手に増殖・浸潤・転移を起こす病態で遺伝子の変化はがん細胞にのみ起こり遺伝子に傷がついてがん化するが遺伝子の変化はすべて違います。そこで採血のみでがんに関連する遺伝子を数百見ることができる遺伝子パネル検査があります。この検査によって、がんゲノム医療・遺伝子パネル検査で遺伝子の変化を調べてがん治療に生かす新しい薬剤も開発されています。従来の抗がん剤は、がん細胞への効果も高いが正常細胞にも作用します。分子標的薬は正常な細胞への影響が少なくがん細胞へ局所的に作用します。この分子標的治療薬により治療成績もよくなりました。この治療薬の適応は、がんの特徴を確認して使います。今までは、肺がん、大腸がん、膵臓がんと病理診断を基に治療してきました。今後は、がん種別の治療からがんの生物学的治療をおさえた治療へ変わっていくと思います。ゲノム検査をすることでがんの原因となった遺伝子変異がわかり、その分子をブロックする薬剤が提案できるということです。この遺伝子パネル検査が可能になり使える薬剤が増えましたが、必ずしも遺伝子検査をしたからと言って自分に似合う薬剤が見つかるというわけではないことも知っておく必要があるということです。遺伝子検査をして遺伝性腫瘍の遺伝子変化があった場合どこにがんができやすいのかがわかりますのでそこをピンポイントに定期的に検査することで安心することができます。

ゲノム医療と個別化医療のあたらしいかたちとして「あなたの“がん”は世界に1つだけ。だから治療もオーダーメイドの時代へ」と変化していくことから、最適ながん治療を医療者と一緒に考えていくことが必要であるということを学びました。

### 講師・城田先生からのコメント



今回の講話では、「がんゲノム医療」を単なる遺伝子検査の話としてではなく、一人ひとりの患者さんに最適な治療を考えるための新しい医療としてご紹介しました。近年、がん治療は大きく進歩し、遺伝子情報を利用して治療薬を選択したり、将来の治療の可能性を広げたりすることができるようになっていきます。一方で、検査を受ければ必ず新しい治療が見つかるわけではなく、患者さんご自身の価値観や生活背景も含めて一緒に考えることが大切です。講話では多くの方が熱心に耳を傾けてくださり、がん医療への関心の高さを実感しました。患者さんやご家族には、疑問や不安を1人で抱え込まず、医療者と対話しながら納得できる治療を選んでいただきたいと思います。

### タオル帽子入荷しました！



岩手ホスピスの会からのご寄付により、いろいろな色や柄のタオル帽子が入荷しました。治療に伴い必要とされる方へ、お1人につき1つずつ無料で提供を行っています。ご希望の方はがん診療相談室へお越しください。

🌸 ボランティアさんが毎日お花を活けてくれています 🌸



がん診療相談室の他、医療そうだん窓口やホスピタルモールにも飾られています。来室の際は、ぜひ素敵な花にもご注目ください。

トピックス

hesso56号『グッド快適！』にがん診療相談室が掲載されました。ぜひご覧ください♪